

(様式2)

令和 7年 9月 25日

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立下笠居小学校
校長名 織田 光博

公印
省略

令和7年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、事業を実施したので、報告します。

学校の名称	高松市立下笠居小学校
派遣内容	防災に関する出前授業
日時	令和7年 9月 17日(水) 13:35 ~ 15:15
場所	高松市立下笠居小学校 家庭科室
対象者 参加人数	児童数 31名 クラス数 1クラス 教職員 2名 その他 9名(地域の方8名、高松市教育委員会から1名)
内容・日程等	逃げ地図作り
取組における成果	避難場所までどれくらい時間がかかるのか色分けしたことで、安全だけでも時間がかかりそうなことや、近道だけれども倒壊などにより危険な道だと考えられることに気付き、どの道を通って避難するかいろいろな場合を想定して考えておく必要があるそうだと感じていた。また、下笠居地区で浸水しそうな範囲、土砂崩れが起こりそうな場所と自宅の場所、避難場所を照らし合わせて確認したことで、もしもの時により早く避難しなければいけないことに気付いたことで、家庭でも話題にし、家族にも知らせたようである。
今後の課題	急遽、前日の放課後16:30~の最終打ち合わせの依頼があった。その中で、翌日に使用する地図等を直していただく必要ができてしまった。もう少し早い段階で最終打ち合わせができれば、お互いに余裕をもって準備できたように思う。

注) 当日の写真、資料等がありましたら、A4縦で添付してください。



9月 19日 (金)

5年 1組

④ にげ地図づくりをふり返ろう。

初めは防災に対する意識は低かったけれど、今はも.とそなえなき.いけない.なという考えに変化しました。町歩きをしている時.かなりひなん場所まで遠かったような気がして、実際に計ってみると、やはり24分以上かかる所がたくさんありました。道の形がいりくんでいて、災害が起きてしまった時に、足元にがれきや石などがたくさん落ちてきたらにげ切れるかどうか心配です。それに、防災リュックが用意してなかったけれど、にげる時のルートも分かったので、いざという時、親せきや地域の人達をみちびいて、自分の地区の人たちを守れるようになりたいです。もっとにげるルートを調べて、道がふ.せがれた時のためたまにいろいろなルートを歩いて覚えておきたいです。防災のことに自信がきました。もっと防災のことについて調べて、いろいろな災害のことについてもっと考えたいです。この学習をして成長した所がたくさんあるので、も.とこのような勉強をしたいです。

9月19日(金)

5年 1組

④にげ地図づくりをふり返ろう。

初めてにげ地図づくりをして学校に行ったり帰ったりするときには土砂くずれが起きる可能性があるとか、ここは津波が起きるなど予測するようになりました。

自分の地域は意外と道が黒色にぬられていることにびっくりしました。みんなの地域は道に黒があるところ(あ)だけど、案外黒色が少なかったです。

塩家や弓張羽は津波と土砂くずれが西生島よりも危険なことに気づきました。

このことをみんなに知らせたいです。

9月19日(金)

5年 1組

④ にげ地図づくりをふり返ろう。

私の家は海から近く、ひなん所からとても遠いので、津波が来たとき、すぐひなん所に行けるようなルートを探さかしました。おいたら、川ぞいではひなん所から近いけど、津波がくるまはが刺す。山ぞいではひなん所から遠いけど、津波がおきるまはがありません。なので私は遠くなるけど、津波がこない、山ぞいを通ることにします。あと、私の家から学校まで2.5キロもあるので、ひなん所より学校が遠いことが分かりました。